

## 令和2年 自己評価・施設関係者評価表

社会福祉法人 松樹会  
幼保連携型認定こども園  
松浜こども園

### 1. 本園の教育・保育目標

一貫した計画をもとに教育・保育が連続的に展開され、発達を考慮しつつ「心情・意欲・態度」を育て、卒園に到り目標が達成できる事を目指します。

#### 思いやりと協調性のある子

- ・相手を尊重し思いやりの心を持つ。
- ・優しい言葉がけや励ますなどして他者をいたわる。
- ・良いこと悪いことに気づき考えて行動する。
- ・礼儀を知る。
- ・友達と思いや考えを共有し、協力しながらやり遂げる。



#### 心もからだも元気な子

- ・身の回りのことを自分でする。
- ・健康な生活リズム、習慣を身につける。
- ・情緒が安定し意欲的に遊ぶ。
- ・体力とバランス感覚を養い、運動能力を向上する。
- ・心のコントロールと我慢ができる。
- ・すべきことを自覚し、創意工夫しながら行動する。(自立心)
- ・諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、さらに挑戦する。

### 思いやりの心と 未来を生き抜く力を培う

#### 社会に生きる

- ・日本の国柄、伝統的な文化に触れ、我が国や地域社会との繋がりを意識する。
- ・尊敬と感謝の気持ちを持つ。
- ・お手伝いなどをして自分が役に立つことを喜ぶ。
- ・公共の施設や公共の物の正しい使い方を覚え、大切に扱うことを学ぶ。



#### 考える子ども

- ・心を動かす体験を通し、自分なりの感性と想像力で表現する。
- ・言葉を豊富に獲得し、豊かな情操・思考力・表現力を身につける。
- ・他者の意見も参考にしながら判断し、自分の考えをよりよいものにする。
- ・文字をはじめ数量や図形、記号、標識などを理解し生活に役立てる。
- ・自然や物の性質、仕組みなどをよく観察し、好奇心や探究心をもつ。

### 2. 本年に取り組む重点事項

令和2年2月末より新園舎移転となり、環境の整備と移転に伴う保育教育活動の整備とが課題となった。また、6月からサイクル献立導入で食の充実をはかった。支援を必要とする園児が増え、園として発達の理解を深める課題ができた。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み内容

評価項目	評価の着眼点	評価	取組状況
保育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建学の精神や教育目標に基づいた運営がなされているか</li> <li>・ 教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教職員間で共有されているか</li> <li>・ 年間の指導計画や週案などが適切に作成されているか</li> </ul>	A	入園0歳児から卒園に至るまで一貫した計画を持ち、年間がそのまま枝葉の月・週案に連動するよう作成されています。
指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定こども園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導が適切に行われているか</li> <li>・ 環境を通して行う教育が適切に実施されているか</li> <li>・ 幼児との信頼関係の構築が図られているか</li> <li>・ 幼児の主体的な活動が尊重されているか</li> <li>・ 遊びを通じた総合的な指導が適切に行われているか</li> <li>・ 一人一人の発達の特性に応じた指導が適切に行われているか など</li> </ul>	A	教育要領に沿った保育計画を、子供の発達に応じて保育実践しております。なお、クラス運営と個別（集団と個別配慮）の両輪が成り立つよう視点を置いております。
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育の為、研修を実施しているか</li> <li>・ 特別な支援を必要とする幼児について、個別の指導計画や個別の教育支援計画が適切に作成されているか</li> <li>・ 特別な支援を必要とする幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携が適切に図られているか</li> </ul>	A	支援を必要とする子供も多く在籍するようになりました。園として発達に強くなる必要を感じ、重点課題とし、毎月2回専門の研修を積み研鑽しております
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法定の学校安全計画や、学校防災計画等は作成、実施されているか</li> <li>・ 園舎や通園路等の安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか</li> <li>・ 関係機関、団体との連携を図りつつ、幼児の安全を確保するための具体的な取組が行われているか</li> </ul>	B	園舎移転で環境が変わるにあたり、関係機関と相談しながら避難について検討しました。避難訓練には想定と経路の確認の必要性が特にあります。

評価項目	評価の着眼点	評価	取組状況
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の課題をふまえ研修を実施しているか</li> <li>・保育研究を全教員が行うことや、保育研究を継続的に実施することなどを通じ、指導改善に全園的に取り組んでいるか</li> <li>・教員の指導の状況を的確に把握するとともに、指導が不適切な教員への対応が適切になされているか</li> <li>・管理職が定期的に保育観察を行い、教員に対して適切な指導・助言をしているか</li> </ul>	A	令和2年、各団体主催の園外研修が中止になる中、園主催の外部講師依頼の研修・職員内研修を重ねました。全員で研修することは園の課題解決に重要です。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の様々な情報が、分かりやすく、かつ適切な分量で提供されているか</li> <li>・幼児等の個人情報の保護と積極的な情報提供とのバランスに配慮しているか</li> <li>・園便りや掲示板等を用い、教育活動についてや、園や子育てに関する様々な情報の伝達・公開が適切に行われているか</li> <li>・ホームページの活用をはじめ、広く地域住民等に園に関する情報を周知し、提供するための取組を行っているか</li> </ul>	A	園だよりを刷新し、保育の狙いと反省評価が整理しました。子供の成長が理解できるよう、日々の保育内容が見えるよう工夫しております。HPは外部の方向けに概略を説明しております。
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事やおやつは、素材から手作りしたものを提供するよう努めているか</li> <li>・子どもが主体的に偏食を直せるよう工夫をしているか</li> <li>・子どもが落ち着いて食事を楽しめるように、食事をするための雰囲気づくり等に配慮しているか</li> <li>・子どもの食事の状況を把握するため、調理担当者は食事の様子を見る機会を設けているか</li> <li>・食事は、季節感のある献立や食材を利用しているか</li> <li>・発育期にある子どもの食事の重要性と、園で提供する食事への配慮を保護者に伝えているか</li> <li>・厨房内における日々の業務反省評価をしているか</li> </ul>	A	より一層の子供の食の充実をはかり、R2/6よりサイクル献立を取り入れました。調理員も増えたこともあり、厨房運営には課題がありましたが、日々厨房運営の反省評価により、改善をはかっています。 この献立は人件費や材料費のコストが嵩みますが、和食により幼児期に食を学ぶことは、子供にとり、将来の宝となります。
施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や園舎、敷地は幼児に適した面積か</li> <li>・安全にかかる配慮は適切か</li> <li>・遊具の種類や設置状況は適切か</li> </ul>	A	1・2階とも地上階という特殊な立地で安全です。面積は法定以上に広いです。今後必要に応じて教具も増やしていきます。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>主に令和2年の課題として、園舎移転に伴う環境整備がありましたがおかげさまで、大いに遊べる広さ・ランチルームにより美味しい食事環境充実・0、1歳児ひよこ組の職員動線最適化により子供の処遇改善と劇的に改善されました。</p> <p>また、ランチルームとともに、厨房施設を最適な形に作った事で、これまで出来なかった、献立のレベルアップとして、サイクル献立を導入しました。子供の給食が美味しく、また、将来にわたって体を支える食の基礎を培います。調理員3人増で手の込んだ、材料も函館の昆布、指宿のカツオと経費をかけるものですが食の充実の為、取組ました。しかしながら、厨房運営には課題が残り、ダシの旨さ給食の旨さを一層改善したいと思いません。</p> <p>支援を必要とする園児が増え、クラス運営の軸足をどう置くか迷うところが担任にできます。どのように接し、どのように伸ばすかABAという応用行動分析学の講師を毎月お呼びし、研修を重ねました。園として発達の理解を深め研鑽しております。</p>

#### 「3.4」の評価結果の表示

評価	十分達成されている	A
	達成されている	B
	取り組まれているが、成果が十分でない	C
	取組が不十分である	D

#### 5. 今後取組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
厨房運営	美味しいものを提供する工夫。他園にて実習させて頂く等して、研究する

#### 6. 施設関係者評価委員会の意見

##### 評価①

新園舎に移転し、非常に開放感ある環境でこれまで以上に手厚い保育・教育をして頂いています。特に印象に残ることは、次の3つです。

1つ目は、先生方の頑張りです。子ども一人ひとりへの気配り・目配りが素晴らしく、安心してお任せできます。日々の研鑽とご尽力の賜物と存じます。

2つ目は、園だよりです。月ごとの目標・目的が具体的で在園時の様子をイメージしやすいです。スナップ写真に子どもがいると家での会話も弾みます。

3つ目は、食育です。給食のさまざまな工夫に加え、特に季節の食材に実際に見て触れ

て食べて学べる機会は面白く、非常に良い経験だと思います。

毎日安心して登園できる環境を維持していただき、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

#### 評価②

昨年からの園舎が新しくなり、今までになかったようなスペースが増えたことによって活動の幅も広がったように感じます。今年度はコロナウイルスの影響で、制限がある中ですが、子供たちが日頃頑張っている成果を発表できる場を先生方が工夫して頂いただき、今までとは違った形で作って頂けて大変ありがたかったです。当日の園長先生の話の中にもありましたが、こういった場があることで子供たちの自信にも繋がったりしたと思います。また、6月から始まったサイクル給食は初めて食べるものや、苦手なものもお友達と何度が食べることによって苦手意識が少なくなり、家で同じ食事を出しても食べてくれる事が増えました。

#### 評価③

子供が0歳児の時、年度途中入園でしたが、先生方がとても親身になり説明してくださって、不安だったのが安心して預けられると思えました。今、年長になり、今までサントレや瞑想、坐禅等、色々な経験をしたり、新しい園舎での広く伸び伸びと園生活ができ、素晴らしく思います。

#### 評価④

- ・保育計画を基に、支援を必要とする子どもたちもふくめ、ねばり強く園児、保護者に接し、養護、教育が出来ていると感じます。
- ・毎日の食事を素材からの手づくりに努めている事もあり、幼児期に食を学ぶ事が出来ている。

施設関係者：保護者の代表の方 法人監事

### 7. 令和2年公開保育の取組状況

1月15日    2月12・14日    3月4日    4月15日    6月17日    7月15日  
8月5日    9月9日    10月14日    11月5日    12月9日

保育参観として5月を除き毎月実施。その内2・3月は近隣小学校（松浜・濁川・太夫浜）教員参加。